

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月10日(2025.3.10)

【公開番号】特開2024-137441(P2024-137441A)

【公開日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【年通号数】公開公報(特許)2024-187

【出願番号】特願2023-48965(P2023-48965)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月28日(2025.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域の所定位置に設けられ、遊技球の入球が抽選の契機となる始動入賞口と、

開放したときには遊技球が入球可能または入球容易となる大入賞口と、

前記始動入賞口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定する当否判定を実行する当否判定手段と、

前記当否判定の結果を示すための図柄が変動表示される図柄表示装置と、

前記図柄の変動表示過程が定められた複数種類の変動パターンからいずれかを選択する変動パターン決定手段と、

前記始動入賞口へ新たな入球があったときにそれ以前の前記始動入賞口への入球に対応する図柄変動が表示されている場合、所定個数を上限に前記始動入賞口への新たな入球に対応する抽選値を保留として記憶する保留制御手段と、

前記当否判定手段による当否判定の結果が所定結果である場合、大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行可能とする特別遊技制御手段と、

演出的な内容が表示される演出表示装置と、

前記演出表示装置に表示させる演出内容を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段により決定された演出内容を前記演出表示装置に表示させる演出表示制御手段と、を備え、

前記演出表示装置に表示可能な演出画像として、第1画像グループに属する1以上の第1画像および第2画像グループに属する1以上の第2画像とを少なくとも有しており、

前記第1画像を所定態様に変形させた特殊第1画像を表示させる特殊演出を実行可能であり、

付与される賞球数と使用される使用球数との差数に関する情報である特定情報が所定の規定値に到達した場合、遊技終了を報知する抑制報知演出を実行可能であり、

前記特定情報が前記所定の規定値とは異なる特定の規定値に到達した場合、前記特定の規定値に到達したことを、または、前記所定の規定値に到達するまでに要する前記差数を示唆または報知する事前報知演出を実行し、

前記特別遊技の開始時に実行される大当たり開始デモ演出において前記大入賞口に向かって発射を促す発射報知演出が実行されている状況において、前記特殊演出は実行されず、前

30

40

50

記抑制報知演出も実行されない一方、前記事前報知演出は同時に実行可能であり、前記特殊演出の実行中に前記特定情報が前記所定の規定値に到達することで前記抑制報知演出が実行される場合、前記特殊演出は中断され、

前記抑制報知演出は前記特殊演出における変形の対象とはされず、前記抑制報知演出の実行中に前記特殊演出が新たに実行されることはない、

前記事前報知演出は前記特殊演出における変形の対象とはならない一方、前記事前報知演出の実行中に前記特殊演出を新たに実行可能であり、

前記事前報知演出と前記特殊演出とは同時に実行可能である一方、前記事前報知演出の方が前記特殊演出より前面に表示され、

前記保留制御手段が記憶する保留の個数を保留数表示として所定位置に表示可能であり、前記保留数表示の実行中に前記特定情報が前記特定の規定値に到達した場合は前記保留数表示と同時に前記事前報知演出が実行可能であるが、前記事前報知演出は前記保留数表示と重複しない位置に表示されることを特徴とする弾球遊技機。

10

20

30

40

50